

ハイコンピストンキット (39MM) 取扱説明書

製品番号 01-02-0004

適応車種及び フレーム番号	モンキー / ゴリラ	(Z50J-200001 ~ 269999) (AB27-100001 ~ 189999)
	モンキー BAJA	(Z50J-170001 ~ 2115331)
	XR50/CRF50F	(AE03-100001 ~ 2299999)
	DAX	(AB26-100001 ~)
	CD50/CL50/ ベンリィ 50S	(CD50-150001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特 徴～

- ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ノーマルと同じボア径、同じ排気量でありながら高出力化を可能とするハイコンピストンです。アルミ鍛造無垢材を削り出し、高剛性でありながら大幅な肉抜き加工により軽量化に仕上がっています。
- ピストンの高圧縮比化、高効率燃焼化、徹底的な軽量化、低フリクション化を追求したことで高出力化を可能としました。
- 推奨する弊社製カムシャフト、キャブレター、エキゾーストマフラー等との組み合わせにより、持てるポテンシャルを更に引き出すことが可能です。
圧縮比 12.5:1
ピストンリング 2本仕様

使用燃料についてのご注意

当製品を取り付けるとノーマルに比べ、高圧縮比となります。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。
キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグはCR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎競技用を前提とした製品です。
- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎当製品の取り付けには上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎必ず慣らし運転を行って下さい。
- ◎当製品にはガスケット類は付属していません。別途ご用意ください。ガスケットによってはホンダ純正品を使用する箇所があります。
- ◎シリンダーヘッド、シリンダー等はノーマルを使用します。再使用する際は使用前に必ずホンダ純正サービスマニュアルを参照して点検してください。コンディションが悪いものは再使用せずに新品部品と交換して下さい。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン 39MM	1	13100-GEL-T00
2	ピストンリングセット 39MM	1	01-15-0107
3	ピストンピン 13x26.8	1	13111-GEL-T10
4	ピストンピンサークリップ 13x1	2	00-01-0003 (6ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にて
ご注文下さいます様お願い致します。

～別途必要部品～

名称	品番等	備考
スパークプラグ	CR8HSA (NGK) または U24FSR-U (DENSO)	
ヘッドカバーガスケット	12391-165-T01	弊社部品
L. シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	12395-165-T02	弊社部品
シリンダーヘッドガスケット	12251-GBJ-003	ホンダ純正部品
O リング 14.5MM	91301-GB0-911	ホンダ純正部品
シリンダーガスケット	12191-GW8-681	ホンダ純正部品
ラバーパッキン 16MM	91303-035-000	ホンダ純正部品
	00-01-0066 (2ヶ入り)	弊社部品
エキゾーストパイプガスケット	00-01-0064 (2ヶ入り)	弊社部品

～弊社推奨部品～

推奨部品・箇所	商品名	品番
カムシャフト	スーパースポーツカムシャフト	01-08-0009
キャブレター	ビックボアキャブレターキット (ケーヒン PC20)	03-05-3201 (モンキー用)
ファンネル	エアファンネル	各種
エキゾーストマフラー	ベーシックマフラー	04-02-2304
	Zスタイルマフラー	04-02-2301
トランスミッション	4速クロスミッションキット	02-04-1601
点火系	ハイパー C. D. I.	05-03-0003
	スーパーストリートアウターローターキット	05-02-0018
	C. D. I. マグネットキット	05-02-0512
クラッチ	スペシャルクラッチキット	各種

上記推奨部品は一例です。弊社では上記以外にも車体部品を含め、さまざまな部品を用意しておりますので使用用途や使用状況、レースレギュレーション等に合わせた対応することが可能です。

是非ご検討下さい。

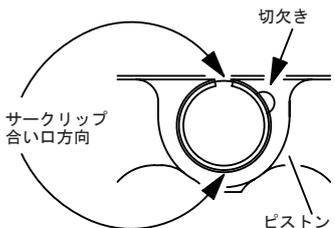
詳しくは弊社カタログまたは弊社ホームページをご観覧下さい。

～分解、点検～

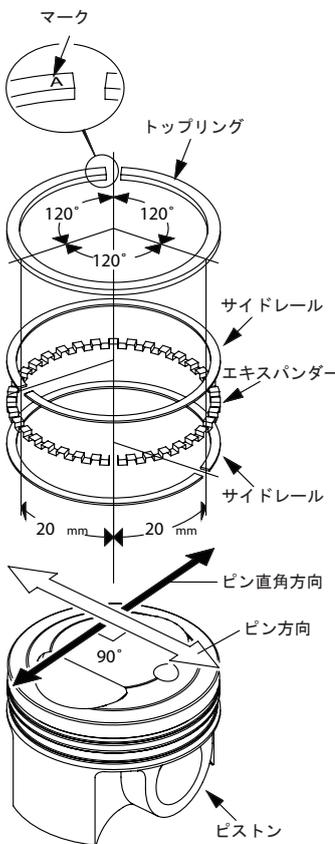
- ・ 適応車種専用のホンダ純正サービスマニュアルに従い、シリンダーヘッド、シリンダー、ピストン、カムシャフトを取り外す。
- ・ 再使用する各部品をホンダ純正サービスマニュアルに従い、点検・調整を行う。コンディションが悪いものは新品部品と交換する。弊社商品の点検に関することは4ページを参照する。

～取り付け要領～

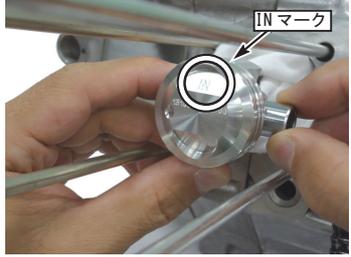
- ・ ピストンピンサークリップをピストンのサークリップ溝の片側にきっちりはめ込み、合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付ける。



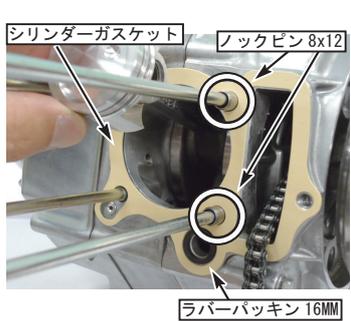
- ・ ピストンのリング溝にエンジンオイルを塗布し、ピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、トップリングの順に取り付ける。トップリングは文字面を上にして取り付ける。ピストンリング合い口はピン方向とピン直角方向は避け、図のように合わせる。



- ・ コンロッド小端部、ピストンピン穴、ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストン頭部にある“IN”マークをインテーク側に向け、組み付ける。ピストンピンサークリップをピストンのサークリップ溝にきっちりはめ込み、合い口を切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向ける。



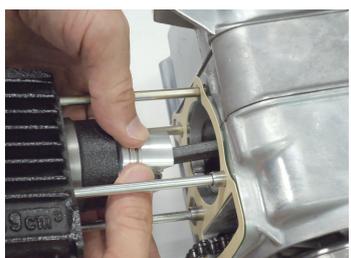
- ・ クランクケースにノックピン 8x12 2個、シリンダーガスケット、ラバーパッキン 16MM を取り付ける。



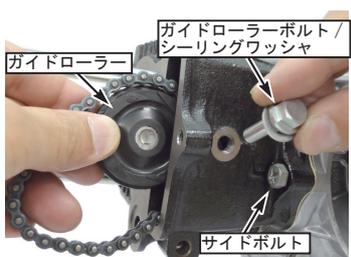
- ・ シリンダーボアに少量のエンジンオイルを均等に塗り広げる。



- ・ ピストンリングを圧縮しながら取り付ける。
※オイルリングが入れ難い場合はエキスパンダーを指で均等に圧縮し、ある程度なじませてからシリンダーを取り付ける。



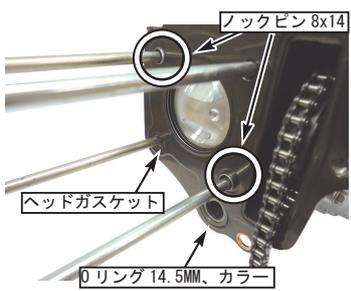
- ・ ガイドローラーをシリンダーの取り付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト/シーリングワッシャを仮締めする。サイドボルトを仮締めする。



- ・ 弊社製カムシャフトをその取説に従い、シリンダーヘッドに取り付ける。(ノーマルカムシャフト取り付け時はサービスマニュアルの指示に従い取り付ける。)

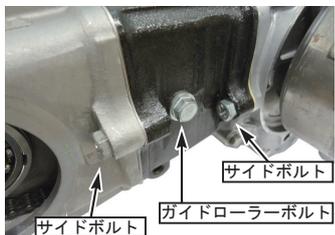
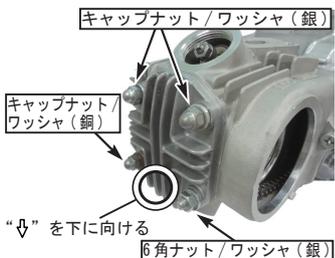


- ・ シリンダーにノックピン 8x14 2個、シリンダーヘッドガスケット、Oリング 14.5MM、カラーを取り付ける。



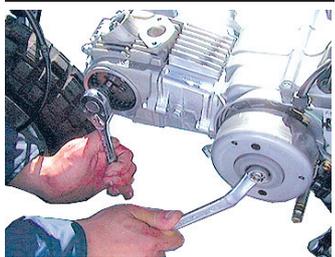
- ・ シリンダーヘッド、ヘッドカバーガasket、ヘッドカバーを取り付け、ワッシャ/ヘッドナット、サイドボルトを所定の位置にて仮締めした後、ヘッドナットを対角に数回に分けて規定トルクにて締め付ける。仮締めめの各ボルトを規定トルクにて締め付ける

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
トルク：11N・m (1.1kgf・m)
ガイドローラーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
サイドボルト上下
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ・ カムシャフトの取説に従い、フライホイールとのタイミングを合わせてカムプロセックを取り付け、ボルトを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



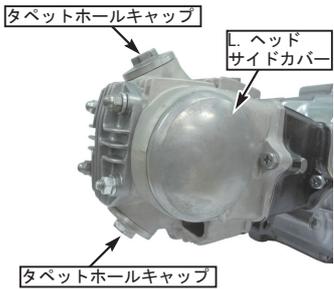
- ・ カムシャフトの取説に従い、バルブクリアランスを調整する。
バルブクリアランス
IN・EX 共に 0.05mm

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アジャストナット
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



- ・タペットホールキャップ、L. ヘッドサイドカバーガスケット/L. ヘッドサイドカバーを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 タペットホールキャップ
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)
 L. ヘッドサイドカバーボルト
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ・推奨するスパークプラグを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 トルク：11N・m (1.1kgf・m)



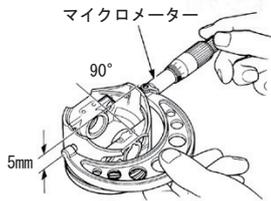
- ・推奨部品の弊社製キャブレター、エキゾーストマフラー等をその取説に従い、取り付ける。
- ・タイヤサイズ、使用状況、体重等に合わせ、ドライブ/ドリブンスプロケットを変更して二次減速比を調整する。
- ・L. クランクケースカバーを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 L. クランクケースカバーボルト
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)

～部品の点検について～

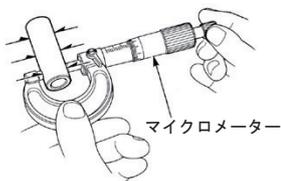
○ピストンの点検

- ・ピストン外周部、ピストンリング溝、ピストンピン穴の磨耗や損傷を確認する。
- ・カーボンやオイル分を取り除き、各部を測定する。ピストン外径はピストンピンとは直角方向のスカート下端から5mmの位置にて測定する。ピストンピン穴内径はピストン水平方向と垂直方向を測定し、最大値にて評価する。



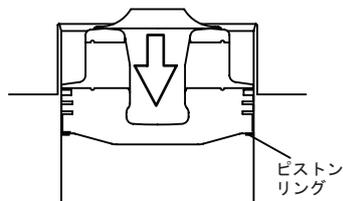
○ピストンピンの点検

- ・ピストンピン外周部の磨耗や損傷、曲がり、焼き付き等を確認する。
- ・ピストンピン外周部の摺動部を測定する。

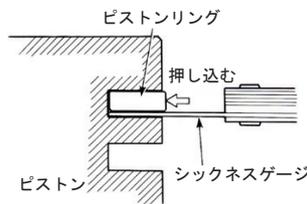


○ピストンリングの点検

- ・ピストンリングの磨耗や損傷を確認する。
- ・ピストンリングをシリンダー下部に入れ、ピストンを使ってリングを押し込み、水平にした後に合い口隙間を測定する。

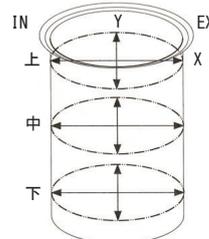


- ・ピストンにピストンリングを取り付け、シクネスゲージを使用してトップリングとピストンのリング溝のクリアランスを測定する。



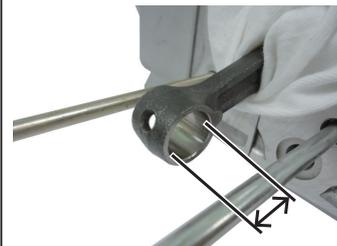
○シリンダーの点検

- ・シリンダー内面の磨耗や損傷を確認する。
- ・シリンダー内径をピストンピン方向とその直角方向に、上・中・下段で6箇所測定し、最大値にて評価する。



○コンロッド小端部の点検

- ・コンロッド小端部内面の磨耗や損傷を確認する。
- ・コンロッド小端部内径を測定する。



項目		標準値	使用限度値
ピストン	外径 (スカート下端から5mm位置)	—	38.96mm
	ピストンピン穴内径	—	13.060mm
ピストンピン	外径	12.994 ~ 13.000mm	12.980mm
ピストンとピストンピンのクリアランス		0.002 ~ 0.014mm	0.020mm
ピストンリング	トップリング合い口隙間	0.05 ~ 0.30mm	0.50mm
	サイドレール合い口隙間	0.2 ~ 0.9mm	1.0mm
トップリングとピストンのリング溝のクリアランス		0.015 ~ 0.050mm	0.08mm
シリンダー	内径	39.00 ~ 39.01mm	0.023mm
	内径の真円度	—	0.1mm
	内径の円筒度	—	0.1mm
シリンダーとピストンのクリアランス		0.02 ~ 0.04mm	0.063mm
コンロッド小端	内径	13.016 ~ 13.034mm	13.100mm
コンロッドとピストンピンのクリアランス		0.016 ~ 0.040mm	0.047mm

上記は主に弊社製品及びそれに関わる箇所の点検を記しています。
 各クリアランスが上記の範囲から外れた場合は修正または部品を交換し、再度点検・クリアランスを確認して下さい。
 その他は車両専用のホンダ純正サービスマニュアルに従い点検を行って下さい。